

殺虫剤

エトフェプロックス粉剤

サンケイトレボン[®]粉剤DL

農林水産省登録 第 16756 号

性状：類白色粉末 45 μ m 以下 浮遊性指数 20 以下

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：5 年

包装：3kg 袋 × 8

有効成分：エトフェプロックス・・・0.5%

トレボン[®]は三井化学アグロ(株)の登録商標です。

特長

○ピレスロイド様化合物エトフェプロックスを含む水稲用殺虫剤です。

速効性とともに残効性に優れ、長期間害虫の発生を抑えます。

○有機りん剤やカーバメート剤抵抗性害虫にも有効です。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	10 アール当り使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェプロックスを含む農薬の総使用回数
稲	イネツトムシ	4kg	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
	カメムシ類、イネミズゾウムシ成虫、ツマグロヨコバイ、ウンカ類、コブノメイガ、アザミウマ類、イナゴ類、イネドロオウムシ、ニカメイチュウ	3 ~ 4kg				
	イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ	3kg				
小麦	ヒメトビウンカ アブラムシ類	4kg	収穫 14 日前まで	2 回以内		2 回以内
豆類 (種実)	ハスモンヨトウ、マメシクイガ シロイチモジマダラメイガ カメムシ類、フタスジヒメハムシ ダイスサヤタマバエ アブラムシ類、アズキノメイガ					
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシクイガ シロイチモジマダラメイガ カメムシ類、フタスジハヒメムシ ダイスサヤタマバエ	4kg	収穫 7 日前まで	3 回以内		3 回以内
やまのいも	シロイチモジヨトウ					
さといも	ハスモンヨトウ	4kg	収穫 7 日前まで	4 回以内		4 回以内
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ					
とうもろこし	アワノメイガ	3 ~ 4kg	収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
きゅうり	ウリハムシ					
キャベツ	ハスモンヨトウ、 アブラムシ類、アオムシ	4kg	収穫 21 日前まで	3 回以内	3 回以内	
はくさい	アオムシ					
だいこん	マメコガネ	3 ~ 4kg	-	-	-	
れんこん	カメムシ類					

※ 休耕田：ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

使用上の注意事項

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しほって散布してください。
- 蚕に対して長期開毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにしてください。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別してください。
- イネミズゾウムシ成虫に使用する場合、移動範囲が広いのでなるべく広域でいっせいに防除し、畦畔などの周辺雑草にも散布してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下の点に注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設等では使用を避けてください。なお、ミツバチを放飼する場合は散布後、1日以上たってから行なってください。
 - 養蜂が行なわれている地域では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、農業改良普及センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。

水産動植物に関する注意事項

- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池等周辺での使用は避けてください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具、及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。